

## SL 活動を通して学んだこと

社会福祉学部社会福祉学科 2 年 永野 絢香

活動先：親子の広場 あんだんて

クラス：原田 正樹 先生

### ① SL を通しての自分の成長と気づき

SL は第一希望で入ったが、不安でいっぱいだった。人前で話すのはあまり経験がなく苦手だったし、リーダーシップをとって集団をまとめることにも自信がなかったからだ。活動先もそれぞれ決まり、活動先ごとに計画を立てた。活動先の方と打ち合わせをする際に、活動先の方は私達 SL の活動にとっても期待し、楽しみにしてくださっていると感じた。そのため、2 人で何回も集まって話し合いをしたり、本や HP でいろいろ調べたりと、夏休みの活動に向けて準備した。しかし、始めはどのように子供達と接して良いかわからず上手く指示を出せず子供達を困らせてしまったり、事前準備が甘く失敗してしまったり、私達 2 人のコミュニケーション不足など様々な反省点が挙げられた。私はこの反省から様々なことを学んだ。自分が企画をして任された以上、失敗をしてはいけない。それなのに、心のどこかに「何とかなるだろう。」という甘えがあったのだと思う。責任感を持って行動することの大切さを改めて学んだ。また、今回の活動中、大変多くの方に支えてもらった。同じ活動先のメンバーや原田先生、活動先の方はもちろん、ボランティアの方々や子供達の親御さんなど本当に多くの方に助けてもらった。心から感謝しお礼を述べたいと思う。

1 年前と今を比べてみると、自分ではよくわからないが、少しは度胸がついたかなと思う。今までボランティアやサークル活動などで、障害者の方やデイサービスを利用している高齢者の方とは関わったことがあったが、子供達と関わることはなかった。そのため、SL 活動のおかげで関わったことがなかった子供達と接することができ、子供たちから多くのことを学んだ。また、自分の改善しなければいけない点にも気づくことが出来たので本当に良かったし、気づくことで成長につながるかなと思った。これから意識して少しずつ直していきたいと思う。

### ② 活動を通して見えてきた地域活動や社会活動

私達がお世話になった活動先は、人と人をつなげる場として、とても大きな役割を果たしていると思う。毎月数多くの様々な種類の行事を行うことによって、初めて会う親同士や子供同士が仲良くなり輪が広がっていく。また、近所の方達にも声をかけることで、いろんな世代の方が子育てに関心を持ってくれるようになり、それが子育て支援につながるのではないかと。また、地域の中で常に開いていて気軽に集まれる場になることで、人々のつながりを作っているのではないかと。人に信頼され頼りにされるにはとても努力がいると思うし、そんなに簡単なことではなく時間もかかると思うが、安心して子育てが出来る環境を作りたいという強い気持ちがあったからこそ、地域の中で必要不可欠となった今の「親子の広場あんだんて」があるのではないかと。子育てはとても悩みが多いと思うし、ストレスや不安を感じることも多いと思う。今の時代、人間関係が希薄になっていると言われているが、信頼している人や同じように子供を持つ親と関わって話をし

たり、ストレスを発散出来る場があれば、児童虐待などを防ぐことにつながるのではないかと思う。そのため、定期的に親同士や親子での交流会や育児に関する講習会など、地域でもっともっと開かれればいいなと思った。また、私はこのゼミに入ってNPOで活動するまでは、NPOは非営利で給料が低いというイメージを持っていたが、実際は年間何億という収入があるところやそうでないところなど、様々なNPOがあることを知った。私と同じようにNPOに対して誤解したイメージを持っている人も大勢いると思うので、教育の一環として学ぶ場を作って、中学生や高校生などの若い人にもっともっとNPOの活動について知って関心をもってもらい、福祉について考え、これからの自分の地元の将来についても考える人が増えればいいなと思った。

### ③ 来年度、SLを履修する学生達へのメッセージ

始めはとても不安だし、どうしたら良いかわからないと思う。しかし、自分達がどのようなことをやりたいのか明確にして、活動先の方としっかり話し合えば成功すると思う。先輩達の行った活動や反省点はとても参考になるので、目を通すと活動をより良くするためのヒントを得られると思う。目標を立てたり、計画を立てたりといった事前の準備もとても大切であるため、自信を持って披露出来るまで何回も試し作りを行う必要がある。また、相手の立場に立って物事を考えたり話をしなければならぬ。1つ1つの活動内容が楽しく盛り上がるものにするために、掛け声やルールを工夫したりするのも大切である。活動をスムーズに進めるために、これから行う活動内容を始めに相手に伝えておくとうまいかなと思う。

私は小学生を対象に6日間活動させていただいたが、活動先の方から「大学生さんは子供達から憧れの目で見られるよ。」というようなことを言われた。いけないことをした子に対してはしっかりと注意しなければいけないし、手伝ってくれた子に対してはきちんとお礼を言う。子供達のお手本となるように、そういう当たり前のことをきちんとするということが大切だと学んだ。常に周囲に目を向け、自分も一緒に楽しみながら活動を行って欲しいと思う。夏休み前は活動についての準備、活動が終わり後期が始まると今度は発表に向けての準備と慌ただしく、時間があつという間に過ぎるので、時間が少なく大変だと感じることも多いと思うが、SLというゼミに入って良かったと思う日が絶対来る。

同じ活動先の仲間と協力したくさん話し合っ、無事に活動が終わるようにぜひ頑張ってください。応援しています。